

<楽しめる球場、進化は続く> (100405 日経)

プロ野球広島の本拠地、マツダスタジアム。「寝ソベリア」 (大型クッションの上で寝そべることも可) やバーベキューができるテラス席、鯉 (こい) 栈敷 (大型ベンチの上に畳みを敷く)。「アメリカ式の楽しめる球場」。自治体 (広島市) が球場をつくって、管理運営は球団が行う。「座席にいるより、コンコースにいる方が楽しい」

有料の球場見学ツアーのほかに、試合のない土日はコンコースを午前9時から午後5時まで開放

鳴り物や応援旗を使った応援をホーム、ビジターとも「パフォーマンス席」に限定

<「市民の理解」先決 東京静観 JOC 関係者は嘆き 「広島五輪」暗雲> (100326 毎日)

広島市「財政非常事態宣言」。招致検討予算を全額削除する 2010 年度予算案の修正案が、3月25日の広島市議会予算特別委員会において小差で可決。

2020 年夏季五輪招致：JOC は 2011 年 7 月までに国内候補地を決定。東京都は？

「東京都も 16 年五輪招致の際、国際オリンピック委員会 (IOC) が実施した都市別支持率が 55.5%にとどまった」「さらに現在、都議会の第 1 党となっている 民主党が「過大投資になりかねない」と 16 年五輪の開催計画に注文をつけた経緯もある」

2018 年冬季五輪には、平昌 (ぴょんちゃん。韓国)、ミュンヘン (ドイツ)、アヌシー (フランス) の 3 都市が立候補、2011 年 7 月の IOC 総会で「18 年の開催地が同じアジアの平昌に決まった場合、「20 年夏季五輪のアジア開催は困難」との見方もある。

<広がる「ブレックス効果」 観戦ツアー申込み殺到 興奮加速、歓喜から一夜> (100407 下野)

バスケットボール男子日本リーグ (JBL) のリンク栃木ブレックス。プレーオフセミファイナルで勝利。栃木県観光交流課には宇都宮市から試合会場での観光 PR を一緒に行えないかと打診があった。県は栃木 SC の J2 昇格をきっかけに、プロスポーツ競技場での観光 PR を本格化。茨城県那珂市や甲府市で県職員らが割引クーポン付きのパンフレットなどを最大で 800 部配った実績あり。ブレックスのアウェー観戦ツアーを企画する 旅行会社

<人気も得点力も低迷 盛り上がってる？ W杯2カ月前> (100406 朝日)

「オシム前監督のことは面白かったけど、今はつまらない」「好きな (イングランド) のアーセナルと違って迫力がないし、物足りない」2 月の香港戦の観客は 1 万 6368 人。1993 年の J リーグ発足以降、国立競技場での代表戦最低記録を更新。テレビ視聴率も低調。T シャツなど関連グッズの売り上げも低調「異常な落ち込み」

<スポーツのある街 Jリーグ百年構想> (100406 朝日)

J1 浦和が 2003 年に「ハートフルクラブ」を立ち上げ (地元埼玉で)。バングラデシュにも。国連の理念を広める NGO 団体「国連の友アジアパシフィック (FOUNAP)」と提携「スポーツで相互理解を深めて平和につなげる」「コーチのウェアには、国連のロゴが付く」「物資支援ではなく汗をかいて高い技術を見せると子どもの意識も違ってくる」

<大リーグ開幕 エンゼルス本拠地 日系企業 早くもゴジラ効果> (100406 産経)

米大リーグ・エンゼルス (松井秀喜外野手) の本拠地は ロサンゼルス郊外のアナハイム。松井移籍の波及効果。球場内に日本企業の広告看板：KOMATSU、シャープ、スズキ、横浜ゴム (球場の近くに現地法人があり初めて設置) など 6 社。しかし、「ジャパン・マネー」目的の獲得ではない。